（別紙）

様式第１号(第５条関係)

会　　議　　録

会議の名称	平成２７年度　第６回美幌町総合計画審議会
開催日時	平成２７年９月８日（火） １８時３０分　開会　　２０時００分　閉会
開催場所	しゃきっとプラザ集団健診ホール
出席者氏名	委員　若林委員、清野委員、観野委員、森委員、早田委員、宮田委員、旭委員、西島委員、大関委員
欠席者氏名	平田委員、三坂委員、工藤委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、那須総合計画主幹、竹下総合計画担当主査、 森久保総合戦略担当主査 高木教育部長、石澤学校教育主幹、石田学校給食主幹、 荒井社会教育主幹、斎藤町民会館建設主幹、大場スポーツ振興主幹、 浅野図書館長、小林博物館長
議題	１　開会 ２　事務連絡 ３　基本計画素案について＜基本目標５＞ ４　閉会
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 （会議を非公開とした場合）	－
傍聴人の数 （会議を公開した場合）	
会議資料の名称	・レジュメ ・第６期美幌町基本構想素案 ・第６期美幌町基本計画素案 ・美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略
会議録の作成方針	■録音テープを使用した全部記録
	□録音テープを使用した要点記録
	□要点記録
その他の必要事項	

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	**<u>開会</u>** 　定刻になりましたので、これより平成２７年度第６回美幌町総合計画審議会を開催いたします。 　本日も前回に引き続き基本計画の議論がメインとなりますので、よろしくお願いします。 　また、本日は、三坂委員、工藤委員、平田副会長が欠席となっておりますのでご報告いたします。 　事務局より事務連絡があります。
那須総合計画主幹	**<u>事務連絡</u>** 　事務局より２点、事務連絡を行います。 　１点目は、配付資料についてです。本日のレジュメの他、「美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案」をお配りしております。 　これは、以前説明をさせていただいた「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴い策定に努めることとされたもので、人口減少問題に関して、２０４０年までの人口将来展望と将来展望の実現に向けた今後５年間の施策で構成されているものです。 　これに関しては、関係機関と公募の委員１０名で構成する「美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会」で議論し、先日素案を承認いただき、来週からパブリックコメントを実施し、１０月末の完成を目指しているところです。総合計画の基本構想で、平成３８年の人口目標を１８，０００人としているのは、先日こちらの会議でもご説明いたしましたとおり、この総合戦略に基づくものです。総合計画の議論にも関わるものでございますので、本日配付させていただきました。 　内容についての説明は省略させていただきますので、後日参考までご覧頂ければと存じます。 　また、前回欠席された方に、８月２５日開催の第４回審議会の会議録等を配付しております。なお、前回第５回の会議録については現在作成中です。次回開催時には配付いたしますので、ご了承ください。 　続いて２点目は、会議の進め方についてです。前回と同じく、項目毎の説明を省略し、即、質疑に入って参ります。質疑にあたっては、各担当の職員が出席しております。紹介は省略させていただきます。職員は、最初に発言する際のみ職名と名前を述べてください。 　また、本日欠席されている委員の方からは、特段ご意見をお預かりしておりませんことをご報告いたします。 　今後の進行につきましては、会長にお任せしたいと存じます。 　以上です。
若林会長	**<u>基本計画素案について</u>** 　それでは、ただ今事務局から説明のあったとおり、基本計画の議論を行っていきます。本日は、基本計画５について質疑を行います。 　基本目標は、５－１から５－５まであります。前々回の会議の時に皆さんに十分中身を把握して来て頂くようにお願いしています。事務局からの説明は省略という事で行いますので、皆さんの方から積極的

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	にご意見を頂きたいと思います。 　では、５－１幼稚園、学校教育の充実からです。あまり意見が出ないようなら、私から指名をさせて頂きます。
森委員	施策の（３）小中学校の教育内容の充実の②体験型の学習によるふるさと教育やキャリア教育の充実に外部講師を活用した土曜授業とは、どういう授業を計画されているのですか。確かに白書の中のご意見では北海道の教育水準が低くて美幌町の教育水準を高めればユニークな教育ができる、町外者が移住もできるのではないかという意見があるが、そういう風にして水準を高める計画はあるのですか。
高木教育部長	教育委員会の教育部長の高木です。日頃から教育委員会の受け持っているのは幼児から高齢者まで非常に幅広い分野です。その中で、それぞれフィールドも多いということで関係する主幹、館長を含めて出席させて頂いています。特に児童生徒のはぐくみの中では地域の皆さんにご理解とご支援、ご協力頂いております事を感謝申し上げます。土曜授業の部分、今までは行っていないが特に、今青写真がある訳ではないが、子供達の土曜日の過ごし方として進めていきたいと考えています。具体的な内容はこれから実施計画を作っていきます。ご意見頂いた部分を反映させながら検討していきます。色んな課題があるのでクリアにして考えていきます。今はこの様な状況です。
森委員	白書を見ますと教育水準を高めてはどうかと意見があるので是非、土曜授業をご検討頂きたいです。 　それと次の③国際理解教育の充実にある外国語活動とは講師の方は何人くらいいらっしゃるのですか。
高木教育部長	英語の指導助手につきましては、１名です。
森委員	３校をお持ちなのですか。
高木教育部長	５校です。中学校と小学校の一部です。
森委員	それで十分足りているのですか。
高木教育部長	今の所、という感じです。小学校の英語の授業が今後どうなっていくのかにもよりますが、それによっては、１名がいいのか２名がいいのかといったことはが当然出てきますが、今は１名という形です。
森委員	是非秋田の水準まではお願いします。
若林会長	それは会話主体ですか。
高木教育部長	はい、会話です。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	今、森委員の意見に外部講師の話しが出ていましたが、町内外問わずという事ですよね。それとも、教育の水準を上げるためには、美幌で適任者が居ないという事で町外からも含めて考えていると受け止めていいですか。
高木教育部長	外部講師については、出来れば地域の皆様にご協力頂ければと思っていますが、場合によっては町外から求める場合もあるかもしれません。特に体育分野における外部講師をご協力頂いていますが、特に町内の方ですね。スキー、スケート、スキーについては町内の皆様にご協力頂いています。ちょうど①のところに出ていますが。
若林会長	私が言っている外部講師はですね、スポーツ関係ではなくて、会話主体の外部講師の事なのですけど。これは町内の方々の協力を得ている訳ですか。それは無いのですよね。
高木教育部長	はい、無いです。
若林会長	会話主体という話の中でそれはどうなのですか。町内の方の協力に一部でもあるのですか。
高木教育部長	それは無いです。今は無いです。
観野委員	森林組合の代表の観野です。 今、この学校教育だけで学力を上げるのは可能なのかどうなのかという気がします。今前の方が挙げました、秋田県なり、福井県も学力が高いですよね。そういう地域は共稼ぎの方が多くて、各戸の家庭の所得水準が割と高いのではないかと言われている。その中で比較すると美幌町の所得水準、形勢的な面も相当影響はするのではないかと思いますが、その辺はどうなのでしょうか。私は小さいことは別にして、少し大きな目で見ればどうなのでしょうかね。
高木教育部長	そういう形で分析をされた事は無いと思います。非常に難しい事だと思います。よく子どもの貧困世代など言われていますけど、所得水準が高ければ、利用的には高いという事は当然あるかと思いますが、それをあえて調査された事は無いので、お答えできないかなと思います。
若林会長	おっしゃっている本質が理解できなかったのですが、経済的な水準が高いから、イコール教育にもお金が掛けられるという意味ですか。
観野委員	そういう側面はあると思います。
若林会長	それは個々の家庭の問題ですよね。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
観野委員	個々の家庭の問題ですが、学力向上の要素があって、今、言われている様に学校教育だけで十分な学力が上がれば理想的ですが現実はどうなのかなという気がしました。
高木教育部長	確かに学校が果たす役割は大きいと思います。そう言いながら家庭の役割も当然あると思っています。家庭で学習をする習慣や家庭の中で生まれなくてはならないことだというように思っています。合わせて社会教育という分野の中で家庭教育、そういうものを訴えていくことも当然必要だと思っています。学校ばかりではなくて、行政も当然そうかもしれませんし、学校、地域、家庭が一体となって高めていう事が必要だと思います。
若林会長	その通りだと思いますが、行政が家庭の教育の中にどれだけ踏み込んで行けるかの問題があります。例えば、北大に行きました、中学レベルでラサール入りましたなど、そういう家庭の話し聞いていると相当お金が掛かっています。だから、教育はお金ですよ、というお母さん方が多いです。塾の掛け持ちで、もの凄くお金が掛かると聞きます。元々、出来の良い子はいるかもしれないが、やはり子どもの教育面を応援していこうとしたらお金の掛かる話しだと思うので、その事で行政がどこまで動けるかという問題になってくるとまた、違う非常に難しい問題があるのではないかと思うのですけど、その辺を観野さん、逆にいかがですか。
観野委員	僕はうちの職場で、ちょっと話したのですが、うちの幹部職員といってもまだ、一番上が４３かな、次が３８かな、彼らに言ったのはもう少しで、子供がもう少ししたら小学生か中学生になるのだから、大学にでもやれよと、そう話したところ、今の所得水準では大学にやれないと言っています。若いから所得も無いのかもしれないし、今の高校生の５割以上くらいが何らかの形で上の学校に行っていますよね。自分の職場の人達も関心があるから、人並みの教育を受けさせて頂きたいなという気持ちで、そんな話をしたが、その点は学校教育で力を付けて貰えれば非常にありがたいと思います。
若林会長	素材は良いですよね。美幌はそんなに出来の悪い町民では無いと思います。だから、今、頭脳流出というか北斗へ行ったり北見や網走の学校へ行ったり出来ますから。我々の時代は小学区制で美幌高校へしか入れない時代でした。それでも北大、東大へ行っています。防大へも入っています。美幌高校はレベルが高かったです。そういう人材は居るのですよね。
旭委員	１００ページの（３）小中学校の教育内容の充実の②にキャリア教育とありますが、どういった事を行っているのですか。
石澤学校教育主幹	どういう事というか部会の中で話されたのが、例えば林業の森林組合さんとか伊藤林業さんとか町の産業もぜひ小さいうちから分かって、こ

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 石澤学校教育主幹	の町はどういう産業でもって町が成り立っているのかということを含めてインターシップもさることながら、キャリア教育と横文字で書いていますが、この町がどうやって成り立っているか、どういう産業で成り立っているかを小さいうちから教えてはどうかとの意見が部会の中で出ました。それをたまたま文字にしたらキャリア教育っていう事になったので、本意としてはこういう意味で捉えていますので、そういうふうに進めればなという風に思っています。
西島委員	それに付随してなんですけれども、美幌は自然豊かな町と打ち出している割には社会教育の人達はこの頃頑張っていますけど、自然に触れるという事が学校教育の中では、少し足りないような気がするのですが。自然豊かという事はやっぱり川の中に足を入れるとか、都会ではお金を掛けてでも学校教育の中に入れている気がしますが、豊かな自然が周りにありながら自然に触れない子供達がいっぱい居て、田舎の学校なのに、そこに自然があるだけで教育に入っていないのではと強く思います。今後、子どもは少なくなっていくので自分の住んでいる町の豊かなものをしっかり身に付けて欲しいなと思っています。
高木教育部長	多いか少ないかは別にして、学校がやれる事には限りがあります。その中でうちの町に博物館がありまして、博物館が自然体験できるプログラムを提供しながらやっています。去年の実績で児童生徒１，３００人が何らかの形で博物館を通じた体験、活動の中で経験したという事で、うちの町は博物館がある事で児童生徒達は機会を得られていると思っております。小中学生１，５００人いますが、去年の延べ１，３００人受けていますので、受けている方ではないかなぁと思っています。
西島委員	よく言われたんですけど、美幌は、周りは豊かだけど町の中で自然に触れる事が少ないと言われています。豊かな町であればあるほど力を入れてほしいなと思います。
高木教育部長	博物館に学芸員が６人居ます。その中で学芸員が居るから出来るという事も当然あるのですが、学校の先生方では限界があります。逆に博物館が小中学校に対して色々なプログラムを提供しながら体験、ものづくりも含めて担っております。
若林会長	町の中に自然が少ないという意見もありましたし、子どもを小さい頃から産業や企業の体験をさせるという意見がありましたが、その事について皆さんどう思いますか。 森林組合はインターンシップを取り入れているのですか。
観野委員	取り入れてないです。自分の組合の仕事に専念してますからそこまで手が回らないというか。
若林会長	どうですか清野委員。インターンシップ今のやり方については。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
清野委員	もう少し日数を増やしてはどうでしょうか。触りだけでは何もわからない。
若林会長	美幌高校の校長などにもお願いしましたが、日数３日位では、本当にあちこちの職場を体験したくても１ヵ所にしか行けないし、１ヵ所に３日位ではお客様扱いしているうちに終わってしまうという事があるので、最低でも１週間、あるいは１週間単位を複数企業回れるように出来ないですかと、いう話しをしたのですけど、３年前位に話していますが一向にやる気が無い。インターンシップを盛り込むのであれば、そういう事も含めて実施する時には検討して頂きたいです。組合長が言った通り３日位来ても何の役にも立たない。体験するのは良い事ですが、せっかくの機会を与えるのだったら成果があるようにして頂きたいと、毎年受け入れをしていますので是非、お願いしたいです。 早田委員何かないですか。
早田委員	１０１ページの（５）高等学校教育の充実での、町ぐるみで美幌高校をソフト・ハード面で町として支援とありますが、立場上校長先生と話すと、あまり美幌町は支援してくださってないというような話をされるが、今後こういうハード面・ソフト面どのような支援をされるのでしょうか。
高木教育部長	普通科と実業科があるのですが、実業の部分で生徒数の募集が厳しい事もあり昨年から教育長と私と校長と実業に来て頂いている、管内、一部管外もありますけれども、中学校を訪問しています。去年も今年も募集活動支援という事で行っています。実業については農業の拠点的な事になっていますので、募集人員が非常に厳しい事もあり何とかしないといけないという中で教育委員会としても一緒に歩いているというのが現状です。それと金銭的な支出については町側としての考え方としてもありますので教育委員会として出来る事を、例えば競歩遠足、峠マラソンがありまして、どうしてもバスが足りないとか、一部スクールバスを３台位運営したりですね、諸々について調整したりとか、出来る範囲についてはやっているつもりです。 農業分野の全国大会に出場となれば激励会を行ったり、そういう形の支援は教育委員会としてはしてきています。ハードはこれからどういう事があるかという事があるかと思いますが、ソフト面での支援という形では去年、今年についてはそういう事をやっていますが小中一貫という形もありますし、中学から高校への流れの中で先生方が授業を見るなど動き始めています。子供達が出来るだけ美幌高校に行ってみようというようなことも考えております。子どもたちの選択の道がありますので難しいところがあるのですけれども、特に中学３年生については高校を選択する時期に希望者だけではなく地元の中学生については１度は訪れて下さいという形の中で動いています。どちらかというとソフト面が中心です。今後どうするかについては特に大きな催しはありませんけど、生徒の募集状況だとかいろんな状況の中、町の判断につながるというように思っていますけれども、今人的な部分で出来る事については教育委

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 高木教育部長	員会としてそういった形で進めています。
早田委員	美幌の第１基幹産業の大事な、また実績ある美幌高校の農業科ですので是非、膨らませる様な体制で、美幌高校がより充実して美幌町の人口減少に歯止めが掛かるような感じで、私達も支援しますし、していきたいなと思います。
高木教育部長	特に農業後継者の部分ですね、毎年、定数４０となっていますが町内だけでは非常に厳しいと当然思います。管内でも中学校とその町村にある農協も一緒に歩かせて行っているんですけど、そういう状況を聞いてくるんです。後継者になるのも少なく、１学年４０名を割る位です。管内の興部から斜里ずっと歩いて行っているのですが、一部管内を外れまして陸別まで行っていますが非常に厳しいです。
若林会長	間口とよく耳にすると思いますが、高校無くなってもらっては困るが間口にこだわる必要がそんなにありますか。私は逆に質を高めたらいいと思います。生徒を集めるためには。間口を広げてあげたって来ないものは来ないと思います。質の高い教育をする事によって美幌高校からもああいう学校に入れるよというＰＲの方が生徒が集まるような気がします。現に、スポーツなんかでもラグビー今、遠軽が強いですよとなると、美幌の中学生が遠軽に行きますよね。吹奏楽も遠軽がレベルが高いから、間口にこだわるよりも質を高める事によって生徒が集まるような気がします。その辺はどうですか？
高木教育部長	高校はもちろん、魅力ある高校づくりということで、校長と懇談する中で高校が求めようとする中で魅力ある学校にしないとだめだねと、当然そうだと思います。間口の問題になりますと、小中学校みんな同じなのですけど間口が減ってくるとそれに合わせ教員の数も減ってくるという問題になってきます。教員が減ってくると教える科目や色々な面で影響が出て来るので、ある程度、間口を確保しないと先生の確保が出来ないということもあります。極端に間口が減って教員が減ってくると教えられる限界がくるので、間口の確保は大切です。
観野委員	今の話しを聞いていて、高校あたりで教える能力が高い教員を地区の教育委員会に働きかけて引っ張ってくるなんて事は駄目なんですか。
高木教育部長	基本的には及ばないところです。小中学校につきましては教育委員会がプッシングする事はありますが、高校は道教委なので。
観野委員	教員の教育の仕方によって、子どもの学力なんて全然変わっちゃいますからね。間口ばっかりじゃなくて精鋭主義というのかい。そうするとやっぱり集まるような気がしますね。
若林会長	及ばないところと言わないで、道教委に根回しして、優秀な先生を引

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	っ張るのはないのですか。前はそういう力関係があって、持っていかれているでしょう。美幌高校に優秀な先生、スポーツの指導力の高い先生が簡単に持っていかれ、そこが強くなっているでしょう。前のラグビーの先生が典型でしょう。
観野委員	美幌に居て、北斗に行って強くなり、花園の常連校になっているけどその前美幌にいたんだよ。美幌から３人花園に行ったんだよ。教員の教え方一つなのだよね。
若林会長	勉強もそうだが、教え方の上手い優秀な先生だと絶対子どもの成績は上がるから。
森委員	関連していいですか。１０１ページの⑦教職員の資質・指導力の向上ですが、この中に網走地方研修センターや道立教育研究所などの各種研修会への参加とあり、先程出ましたが、福井や秋田へ独自に我が町の教師を研修に行ってもらうなどの考えはありませんか。 道教委が出ましたが、町教委として出来る事があればそういう事も可能かなという事で、というのは、この計画素案は皆、どの項目もそうですが総花的なのですよ。美幌らしさ、美幌ならではの項目が無いのですね。本当に、どれもこれも、ご無理ご尤もで美幌らしい計画、美幌しか出来ない計画が入っていれば、もっと将来計画が楽しくなるのですけど、あまりにも総花的で何をお聞きして良いのか読んでるとわからない時があるんですよね。そういう事で、出ましたのでお聞きしたのですけど、町教委で出来る事を盛り込んで欲しいです。
高木教育部長	今回のこの計画は基本計画なので、次の段階で実施計画になってきます。
森委員	だから、今、お願いしているんです。
高木教育部長	今のご意見については一つの意見として参考にします。
若林会長	実施計画は役所で行うのですね。ここで、こういう意見を聞いておかないと実施計画に反映されないのですよね。是非、実施する時にこういう意見を盛り込んで欲しいです。出来るのであればですが。
観野委員	今の、私が聞いていてスピードが大事だと感じます。実施計画やってなんか会議やってそれからとか言っていたら、何年先の話になるかわからないですよね。話だけで終わって結果は何もないよとなる。
若林会長	私達も言いっぱなしではなく、監視といったら言葉はちょっと悪いけれども、役所の人間の尻を叩く位でないと、遅いのは遅いです。何をお願いしても遅いです。これは仕方が無いと言ったら仕方が無いんだよね。役所の人はずっと、そうやってきているから自分達が遅いと思っていません。私達民間人の判断から見たらかなり遅い所もあるが攻めても

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	いた仕方ない所もあります。ずっとそうやって、やってきているから。私達一般町民と接して色々な意見を聞いたらいいと思います。
観野委員	前例がなくてもさ。事例が無くてもさ。
高木教育部長	ご意見として承ります。可能か不可能かと言ったら、可能な事は可能だと思います。
若林会長	今、森委員が話していた通り、総花的でつまらないと言えばつまらないが間違った事は書いていない。だけど、特色が無い。カラーが出ていないから、ちょっと位駄目な所があっても、抜きん出たような事をやった方がこの町に対する興味が沸くと思います。
森委員	それと、計画をいつも立てる時、それを検証する部門は無いのですよね。どこまで進んだか、だから５次、６次になっている。どこまで本当にいっているのか、我々にはわからない所があります。そういう事も一つ意見として。 それから、１０１ページの⑥教育相談や生徒指導の充実の相談とはどれ位あるのですか。いじめや不登校の相談件数は。
石澤学校教育主幹	学校教育主幹の石澤です。いわゆる不登校と言われる定義は３０日以上学校を欠席した児童生徒について不登校ということで定義がされております。具体的な資料は持ち合わせていないですが、各小学校中学校で３０日以上欠席というのは、病気であったり、もちろん不登校という事もあります。直近の現状だと小学校については１、２名というところだが、中学校では３０日以上の欠席は２桁になります。ただそのうちの不登校となると１桁となります。年度によっても違いますが中学校は少なくなる状況にあるとは考えています。具体的な数字は今は持ち合わせていませんが、１０名をきる５名以上の範囲の中での不登校の生徒が居るのが現状です。少なくはないということでは認識しています。
森委員	いじめはどうですか。
石澤学校教育主幹	いじめは、今年度については美幌小学校で校長が１学期の６月に、うちの学校にはいじめがありますと生徒に向かって宣言をしました。非常に校長としては勇気のいる事だと思います。それをもって児童生徒に諭し、指導をして改善されたと事例があります。その他にいじめに関して は道教委の調査ですが、年に３回学期毎に児童生徒、保護者にいじめはありますかとアンケートを取っています。無記名でアンケートを取り、学校で開封しないでそのまま教育委員会に持ってきてもらい調査という事で年に３回しています。その結果については現在はいじめは無いということで、美幌小学校の一件は別にしても今年度については現状はないということで、これは学校の調査ではなく、児童生徒、保護者からのアンケートでそのような状況になっています。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
森委員	道教委でおやりになったこと３回あるのですけれども、この間山形でもいじめの事件がありましたが、各地で独自に調査をしたという事でしたが、美幌ではやりましたか。
石澤学校教育主幹	それにのせて調査という事はやっていません。学期毎にやっている事で現在は調査、アンケートという形では行っていません。
森委員	事件は７月だったので６月の段階でしか把握していないという事ですか。
石澤学校教育主幹	そうです。
森委員	やっぱりそれは、もう一回、調査を行った方がいいんじゃないですか。あんな事件があったので。各地で行っているので、道教委におまかせではなく、先程から言っていますが美幌だから出来る、美幌だからやるんだというユニークさが欲しいなと思います教育に。そこの所お願いします。
高木教育部長	それとは別にですね級友テストというのを行っています。
石澤学校教育主幹	簡単なイエス、ノーでの集団の心理的なテストですが、自分は学級の所属感があるだとか、居場所が有るとか無いとか学級の満足度調査のような本当に簡単なテストですが、学級の中でこの子は声掛けが必要だとか、フォローが必要だとか、がわかるテストなので、こういうものを活用しながら未然の防止が出来ています。
高木教育部長	心の変化を読むような形のものです。これを活用しながら児童を見ているというような状況も１つまた別に行っています。
若林会長	３０日っていうのは、延べですか。連続ですか。
石澤学校教育主幹	延べです。
若林会長	延べ３０日ダラダラしなければ、不登校の実体は掴めないのですか。私は、ただ数字で線引きしないで１週間だって来なかったら、絶対長期の不登校に繋がるっていうのは現場に居る人はわかると思います。子どもそれぞれの性格も違うし、それはやっていますか。
石澤学校教育主幹	当然、担任が電話や家庭訪問し、プリントを届けに行って子どもの様子を見るなどしています。
若林会長	怒れないですか。不登校になるのはやっぱり甘えだから、親も部屋の中から出なさい、学校今日行きなさいと２、３発叩かれれば痛いから行きますよ。それぐらいの事をやらないで子どもに人格だなんて、親に教育されている間は人格は無いと思います。すぐ子どもを守ろうとする。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	そんなに社会は甘くないです。そんな甘く育てられて、社会に出て厳しい事が沢山あるのに、そんな躾をした親に責任取れないだろう。今は、先生が１発でも叩いたら大変な事になるから駄目だけど、ある程度は状況をきちっと見て厳しい教育をしないといけない。 いじめの問題だって学校の中だけの問題ではないでしょう。外でのいじめもあるでしょう。私も一度見た事があります。みんなで寄ってたかって１人の子を雪に埋めていて、丁度車で通り掛かって「こらー、ちょっと来い！」って言ったら、バァーッと逃げたので追い掛けて１人捕まえて、ガッチリ焼き入れたら「すみません、すいません。」と。大人を怖くならないと駄目だと思います。１発位叩いたって、どこのおじさんに叩かれたかわからないでしょ。今は叩いたら駄目だけど。いじめは学校や家庭だけの問題ではなく、我々も含めた一般の大人にも責任があると思います。 それから、教育相談、相談員とあるが、個人的には否定ではないが、絶対に無理だろうと思う。相談員になるような人は、みんな真面目で可もなく不可もない人ばかりにお願いする。昔、やんちゃで悪かった人には頼まないでしょ。そういう人の方が相談できる。可もなく不可もなく、役所で指定して、問題起こされたら役所の責任になるかもしれないが、ちょっとユニークな人を相談員においた方がいい。真面目な人は、子どもの辛い所はわからないと思います。そういった所も少し検討して下さい。だって、今までの皆さん、全国的にそういう相談員が沢山居たって、その人達が一つも解決出来てないのだから、いい加減、方向転換しないといつまでもいじめは無くならないと私は思います。全面的には無理だと思うけど、少しは取り入れといてください。他にご意見がないようなので。 次、５－２生涯学習の充実について、皆さん、ご意見はありませんか。先頭を切って、大関さんいかがですか。
大関委員	ちょっと、私の苦手な分野なので、読む事は読んで来ているのですが。あまり実感としてはないですが、でも生涯学習は絶対必要だとは思います。というのは実はこの間、博物館へ行って学芸員の方の説明を聞いた時に美幌町もこんなに素晴らしい人が居て、博物館も１時間ちょっと極め細かく説明してもらって、ああいうのを聞いたり、見て触れたりすると、こういう事も美幌町でやっているんだと、遅いんですけども感心して見て帰ってきました。社会教育の中で生涯学習は必要だと思います。中身の事はまだ良く掴めていませんが良い事だとは思っています。
観野委員	生涯学習というのは、例えば町長がパークゴルフ場を作って、そこへみんなが行ってプレーして学ぶというかこれも生涯学習の一部じゃないのですか。
荒井社会教育主幹	社会教育主幹の荒井です。生涯学習を担当しております。生涯学習は凄く広くて学校教育以外は全部生涯学習となります。ですから、今のパークゴルフにしてもサークルを作って、そこの中で老若男女色んな方々が入って活動すれば生涯学習になりますので、色んな働き方があると思

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 荒井社会教育主幹	います。今日いらっしゃる、図書館、博物館、スポーツも含めてそれから社会教育の部分、町民会館の文化の部分。そこも含めて全部生涯学習という事になります。
観野委員	明和大学も生涯学習の一環になるのでしょうか。
荒井社会教育主幹	高齢者教育という形の中で明和大学をやっています。美幌町の場合は介護保健の関係で介護予防の働きの一つとしても捉えられていますので福祉の関係でそういうふうに捉えられていますけども、こちらの方としては高齢者教育、高齢者教室という形で明和大学を運営しています。
観野委員	そういう所に参加する事によって、明日大会に行かなければならないとか張り切っていますよね。それは裏を返せば医療費の削減に繋がっているのではないかと思います。だから、こういう事は一生懸命やった方がいいです。
荒井社会教育主幹	おっしゃる通りです。皆さんお元気です。６５歳から高齢者教室を募集していますが定員に満たない場合は６０歳以下にも入って頂くのですが、上は８０歳を越しております。今、８８名の方々に来てもらっています。
若林会長	大雑把な話しかできないからね、やっぱりそういうのを活発にして医療費削減というのは非常に大事な事だから、そういうところに行く癖がついて一日でも遅くなれば非常にいいことでないかなと。
荒井社会教育主幹	色々興味を引くような公開講座も明和大学で年に２回開いています。一般の方々にも来てもらい一緒に学習してもらう機会も作っていますので利用していただければと思います。
若林会長	色々なカリキュラムを組んで、普通の学校みたいにやっていますよね。私も講師で２０年位前に２時間位話した事がありますけれども、この間、焼き鳥屋でお年寄りが和気あいあいとやっていました。何の集まりか聞いてみたら、明和大学だと言っていた。学校に行く以外の繋がりが出来ている。月に１回、飲んで色んな話しをするのだそうです。
荒井社会教育主幹	月２回なのです。皆さん凄く明るくて、そういう意味でも凄く良い事だと思います。明和大学の効能は学校以外にもあるのではないかと。
西嶋委員	参加している側ですので、生涯学習というのは明和でお世話になって1年生になったんですけど、よっぽど暇かと思っていたら、大変忙しく発表会があったりとか運動会があったりとか学習の時間以外にいっぱいあってね、参加してみて明和は別だな、色んな年代層の中で集まって、初めてお会いして、この流れだったら頑張ろうねとこの間皆さんと団結したんですけど、修学旅行まで頑張ろうねと、言っていますけど本当に忙しく男の方もいっぱい入ってくれればいいなと思っております。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
荒井社会教育主幹	まさに現役の明和大学の学生さんです。１０日、１１日は３年生が修学旅行へ出掛けます。
観野委員	図書館で古典講座って、あれは生涯学習と別なんですか。
荒井社会教育主幹	全部合わせてそうなります。古典の担当は図書館が担当ですが、明和大学の中でも、そういう事を取り入れるのは可能です。
観野委員	講師は誰がやるんですか。
浅野図書館長	図書館長の浅野です。古典講座は美幌高等学校の国語科の先生にご協力頂いて４名の先生が交代で来て指導にあたっています。講座の登録者が今年は２２名という事で道民カレッジの認定講座となっていまして、昔から継続して人気のある講座です。今は源氏物語をやっています。
若林会長	学習って付くと何かを学ぶ事ばかりと思うかもしれませんが、私は遊びも生涯学習の一つだと思うんですよね。例えば日本酒なんかも役所でも日本酒が好きで飲むだけではなくて色んな全国の特徴のあるお酒の勉強をしている人が居るんですよ、前の副町長ですけど。例えば、ただつまらない飲み方をしているだけではなくて、学ぶような、機会を作ってあげてもいいし、例えば私はジャズが凄く好きで聞かせてあげたいと思いますよ。なかなかそういう機会はないですが。前はよくレコードやＣＤ聞かせてコンサートをやったんですけど、いろんな解説をして。何でもいいんですよね。色んな事を学んで頂いて、専門的な技術や知識を持っている人達を遊びの世界でも講師に迎えて学んだらいいと思います。学ぶという事は何でもいいんですよ。 一つ聞きたいんですけど、図書館の館長の話が出たんでね、美幌町は１４万冊位蔵書していますよね。これは、この町の規模では、多い方ですか、少ない方ですか。
浅野図書館長	蔵書数はその町村によって違うんですが、美幌町の場合は平均するとまだ少ないです。
若林会長	すると、まだまだ優先順位があるのでしょうけれども、こういう分野のこういう本が欲しい、というのはたくさんあるのか。
浅野図書館長	それはキリが無いですね。ただ、昭和５４年３月にオープンした図書館で３６年経過して、当初５万冊が入る規模での図書館なので、実際にはすでに入りきらないで旧美中の３階や、旧質屋の倉庫に分散保管している現実があります。
若林会長	倉庫に入っている本は借りられないのですか。
浅野図書館長	時間がずれますが、お貸しする事は出来ます。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
宮田委員	建設業協会の宮田です。図書館の蔵書の話も出たのですけど、１０５ページの（４）図書館、読書活動の充実の①図書館の増改築の検討で、老朽化、駐車場も少ないとありますが、同じ場所で増改築を行うのですか。敷地が狭いから移転等も考えた増改築の検討なのか。
高木教育部長	あくまでも、３６年経過して老朽化も進み、そういう事実の中で今の公共施設等の総合管理計画っていうのを２年間で作るわけですけど、その計画の中に載せていく形になりますので、今の所、改修するのか、建て替えするのかを含めてこれからの段階になるかと思いますが、当然改築するとしたら、どこに建てるかとなります。
宮田委員	今後検討するという事ですか。
高木教育部長	そうです。
森委員	関連するのですが、優先順位で言えば図書館はどれくらいなのですか。町民会館もあるし、庁舎もあると思いますが。
高木部長	町全体の施設の中で、これ私自身が言うのも何番とは言い切れないです。教育委員会の施設として古くなっているのは事実です。その他にも教育委員会は施設が多いので、スポーツセンターの耐震の問題や色んな事を抱えていますので、どれを優先するかは総合的に町全体で考えなければならないと思っています。
森委員	優先順位を勘案してと書いてあるから、優先順位が決まっているのかと思いました。
高木教育部長	教育委員会としては優先順位を高めて欲しいという想いは当然あります。
清野委員	一つ、関連なのですが、図書館の他にも町民会館の改修の話しがありますけど、生涯学習を行う拠点として、読書も出来る、スポーツも出来る、講演を聴く事も出来る、サークル活動をする事も出来る、そういった一大拠点を作る。作る事によって、各年代層の方が集うようなまちづくりを目指して頂きたいです。幸か不幸か、集約すれば相当町の中には大きな余地が生まれるのではないかと思いますので、不可能ではない、是非、検討して頂き、将来のまちづくりに生かしていただきたい。
若林会長	今、清野さんが言った通りこの施設はここ、この施設はここといった時代ではなく、複合的なものが全国的に主流になりつつあり経費も安く済む。一回に掛かる金額は高くなるけれど、いくつも作るよりは遙かに安い訳だし、図書館なら本を借りたり、本を読んだりする場所だけではなくて、色んな人が出入りする親子のふれあいのスペースを持ったりなどで、私達も町の中に賑わいを取り戻そうということで、図書館も古いのならサッサと建て替え、その中に私達の町の駅的なものを作って、そ

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	の上に図書館が欲しいねと言う話しを実は持ち掛けた事があります。それは役場の方でも、それは全部私達が考えていった案を役所がそのまま、それでいきましょうとはならない訳だから、お互い知恵を出し合って、この絵を何とか実現させたいという事で土俵にあがりつつあります。それも頑張って推し進めていきますので、是非、協力して頂きたいと思います。
観野委員	それは一番最初に町民の人口が１１，０００人と４、５日前に道新に載りましたよね。あれを見たうちの職員やＯＢが、こんなに少なくなったら町の産業は維持出来るのかとの話しになり、あれは３つのプランがあって一番数字的に悪いやつというか少ないやつが出てしまって、何で出したのかと思いました。
若林会長	あれは道でも試算しているし、要は何も手を打たなかったら、こうなりますよ、という事です。
広島総務部長	人口減少は確かに進んでいっています。それを今、何も手を打たないで推計をすると１１，９００人位になりますよという数字です。今、人口減少をどう食い止めるかという事で、先程お渡しした素案、まち・ひと・しごとが別立てとして２７年から５カ年の計画で進んでいます。何か手を打って目標として１４，５００人という形の中で取組をしていきましょうという事で１１，０００人を目指しているわけではありません。
観野委員	あの新聞を見た人は、２５年先は１１，０００人かと、うーんと言っちゃってあと言葉が出ないんですよ。
広島総務部長	黙っているとそうなりますよ、という事です。
観野委員	もう少し努力目標も出してもらった方が良かったかなと、私個人的には思います。
若林会長	行政にだけ言っても絶対無理な話です。観野さんも新聞見て１１，０００人になったら困ると思ったら自分が何をするかですよ。今は、そういう時代です。我々も人口が出て行かない為に何をするか、自衛隊も守らなきゃいけない、自衛隊が無くなったら１万人切るかもしれないですよ。自分達も考え何かしないと、役所も何もしないわけにはいかないから、役所だけの責任でもないし、役所の責任ウエイトは高いが、私達も町民として人口を減らさないためには何をやるのか、皆の責任だと思います。
宮田委員	１０６ページの（５）博物館の充実の④博物館施設周辺の整備ですが、先程も言っていた様にこれから計画されるかと思いますが、今でも学芸員の方達も来館者を増やすために様々な取組をされていると思いますけど、老朽化による施設改修に伴って、先ほど会長が言われたとおり公

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 宮田委員	共施設も複合化するという事で、他の施設と組み合わせる事が出来ないかなと思ったんですが、農業関係以外のものをあそこに入れるという事が出来るのか出来ないのかっていうのを聞きたいのですが。例えば、駅に木育広場が、農業と林業は結構密接で、そういうものも一緒にあの場所に動かして人を集める事を出来るか出来ないかをお聞きしたいです。
小林博物館長	博物館館長の小林です。老朽化による施設及び設備等という事では平成１９年位から農業館と言っていた部分が使えなくなった為に全部壊しまして自力で展示更新しています。それで今、第２展示室になって自分達で展示を行っています。ただ私達の手でどうしても出来ないものがありまして今、車いすに乗っている方がかなり多く来るようになりました。博物館の前の道路が狭くて道路にそのまま入って来られなくなってきているという事で、夏はまだ良いが冬が落雪の関係がありどうしても離れた形で私達が道路を作ります。そうすると下がコンクリートじゃなくて芝生の所を通るので、通れなくなります。そういう欠点があるので前の道路をあと２メートル位拡げて頂ければ車いすで来る人達も楽じゃないかと思います。そのような形の改修をして頂きたいと思っています。それと２階の物見棟のハフが壊れています。それも今、見積もりをもらっています。少しずつ自分達で直せる所は自分達で、自分達で出来ない所は年次計画で業者にお願いするしかないのかなと思っています。木育広場は林業館の方にもあったんですけどお誘いがあれば、私達は出掛けていく事はやぶさかではありません。現在、博物館は療育病院に絵を飾っております。それとみどりの苑に剥製や写真を飾っています。どんどん貸出しています。大体、この間、みどりの苑は剥製を全部運び込みましたので、かなり大きく展示させてもらっています。それと療育病院には、６ヶ月に１回、今回はちょっと「びほーる」での展示会もあったので伸びていますけど、年に１～２回展示更新しています。そういう形で出掛けてはいます。ただ、木育広場とかの様に子ども達にという事で出したので私達が出掛ける事は難しいのかなとは思っています。
広島総務部長	今、委員が聞いているのは博物館の施設の中に他の施設を併用して作る事が可能なのでしょうかという確認をしているのでその事について、例えば、博物館法の中で駄目であれば駄目という形でお願いします。
小林博物館長	博物館法の中というか無理ですね。今のスペースの中では。
若林会長	借金払い終わっていても駄目なのですか。
小林博物館長	そういう事ではなくて、今、全面展示をしたりしていますから、法的には構いません。現在も農業館の補助で作っている部分を博物館として使っていますから、そういう点では違反行為だと思います。
高木教育部長	元々、農業館を博物館という事で、農業館のイメージが強かったんですけれども、ほとんど農業館としてコンバインを入れていた所くらいし

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 高木教育部長	かなくなって絵画などの展示コーナーになっています。どちらかというと博物館というか美術館に近いかなという感じになっていまして、収蔵している絵画も２，０００点を越えているので定期的に入れ替えをするなど、療育園に一部貸出しながら展示更新しています。特養の入所者の方々も季節感を味わいたいという事でテーマに合った物を定期的に入れ替えて貸出する形で協力しています。施設を併用して使えないかとの部分については現状はどういう要望があるかわかりませんが、現状の収蔵物の展示を考えると、館長が言った通りちょっと厳しいかと思います。増築をするとなると話しは別かもしれませんけど。出来れば収蔵品が多いという事で展示スペースを確保したいとはいう想いは強いと思います。
宮田委員	展示スペースが足りないのであれば、改修してもっとお客さんが来るようにしていこうというのがあると思うので、そういった場合に博物館としてプラスアルファで集客出来るような施設を作るという計画は出来ないのですか。
高木教育部長	実は、去年の暮れから今年の２月位まで冷暖房設備が駄目になってしまって改修をしました。その時に２階の展示スペースの一部を一緒に改修させていただいた経過はあります。
広島部長	公共施設全体については、目的と今後の人口の推移などを含めて、それぞれ単体で改築なり新築出来るかとなると非常に財政的に持ち堪えられるかとの問題があり、今年と来年で公共施設の総合管理計画の策定をします。その中で当然多用途に切り替わるものですとか、併設をするものだとかを含めて全部管理計画の中で検討していくという事になっていますので、その中でどういう整理を図る事が出来るか、それぞれの施設の目的も含めて考えながら結論を出していく事になります。
宮田委員	総合計画、今後１１年の中で、それを改修するだけではなくて、せっかくあの場所にあるので大きな計画を持って人が集まるような形の計画が出来れば良いなと思います。
広島総務部長	博物館だけではなくて、みどりの村全体をどうしていくかという事を考えていかなければならないと思うのですが、それをみどりの村の在り方検討委員会を設置して検討をするという事になっていますので、観光としてどうなのか、宿泊施設としてはどうなのかという事を含めて検討を図りますので、そちらで一定のどういった検討結果が出るかを加味しながら考えていきたいと思っています。
森委員	町民会館の利用者の安全確保と書いてありますが、前のまちづくり白書で舞台管理に精通している人は１人しかいない。人的な充実が望まれると書いてありますけど、あと何人居ればいいのですか。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
斉藤町民会館建設主幹	町民会館建設主幹の斉藤です。びほーるの方は今年から作業員２名に増員して音響と照明という事で操作業務、プロにしか出来ない様な操作業務は今までは１名で行っていたんですけど、もちろん１人で２つは出来ないので会館職員と補佐アマチュアで行っていましたが、今年の４月からプロ２名体制にしています。
森委員	まちづくり白書にあったのは解決出来たという事ですね。
斉藤町民会館建設主幹	そうです。
若林会長	あんなに立派なホールを素人にやらせては駄目ですよね。 時間がオーバーするかもしれませんが次にいきたいと思います。
竹下総合計画担当主査	ミスプリントで一点だけ訂正があります。１０６ページの（４）の④の説明文の中で上から３行目「あらゆる機械」の所がマシーンの機械になっていますけど、チャンスの「機会」です。訂正をお願いします。
早田委員	ちょっとすみません。博物館の件なのですけど、橋を一本真ん中に架けて丁度町に行きやすいアクセスをということはできないでしょうか。
若林会長	何回か選挙の度に出て来る話なのですよね。あそこに橋を通せと。今の時代で、そこに本当に必要なのかという意見もあって、皆が皆、賛成した訳ではなく選挙の争点になってきた。だから、あそこに橋を通すなら、今の橋をきちんと整備して欲しいとの声もあるから、ここで橋を架けてくれとはならない。まだ審議委員会がありますから、もう一度そこで発言して下さい。
早田委員	私は基本的に、子ども達が気軽に行けるという部分だけなんですよね。
若林会長	それはわかりますが、同じお金掛かるのに、そこに子ども達が博物館に行くためだけに橋を架けるとは絶対通らない。議会も通らない。
広島総務部長	順位としては、大正橋の架け替えの方が優先順位は高いだろうと思います。色々な事を考えるとですね。そこを先にやっていく必要があるかなと行政的には判断をします。
若林会長	それは、近々の話なのか。
広島総務部長	それはちょっとまだかと思います。
若林会長	パークゴルフ場の場所の問題もアクセスに関わってくるから。 他の項目の中で出ても構わないし、要望事項なら担当部署の方が居なくても要望なら出せます。次の項目に移ります。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	５－３青少年の健全育成、これは先程の学校教育の中で青少年の問題が色々出ていましたので、皆さん方から新たに何かございましたら、ご意見をお願いします。
西島委員	１０８ページの基本的な考え方と指標の下から２行目の「地域の子どもは地域で育てる」という視点でと書いてありますけど、今、青少年活動の中で子どもが少子化で少ないですよね。昔の様に地域の中で育てるという感じは見えないですけど、これからの動きの中で地域で育てるという事を青少年部会も弱くなってきている中で、どう社会教育的な形の中で力を入れていくのかが、これからの大きな問題だと思うんですが、そこをお尋ねしたいです。地域で育てるという事はもちろんわかるんですが、なかなか子どもと地域が関わる事が少なくなっているので、難しい課題かなと思います。
荒井社会教育主幹	地域の中で子どもが居る組織は少なくなっている現状はあります。青少年部会の中でも、青少年部というものを地域の自治会の中で作っている所と、全く子どもが居ないから作っていない所と、子どもが居ても作っていない所など、そういう温度差の様なものが地域の中にあります。町として社会教育として考える事は、地域抜きには、学校教育でもそうですが子ども達は育てられないというのが基本にあります。ですので、女性部の皆さんもお手伝い頂いている、また「らんざん」の皆さんにお手伝い頂いている中にあって、地域の大人達が関わるっていう姿を少しでも子ども達に見せない事にはならないという事があります。それから、ここの部分の青少年の健全育成の部分では、子ども見守り隊のバッジの働きや、それ以外でも関わるのは大人なんだという事があるので、今も青少年の部分を増やしたいという想いもありますし、子ども達自身でも積木サークルとかに関わる子ども達も忙しくて関われないという事もあるのですが、今、段階的に小学生の所から、今、事業に参加してくれている子ども達から、中学に行ったらこういう事も出来る、高校に行ったらボランティアサークルもある、繋げていって青年の活動団体であるＢ－ＬＩＶＥだとか、そういう活動している大人達、または青年達が居る事を知らしめながらですね育てていこうとしています。その為には、確かに地域との関わりは少なくなっていますが、大人達が居て初めて子ども達が育つという現状がありますので、皆様には少しずつ理解頂きながら活動していきたいなと思っている所です。
若林会長	難しいですよね。共稼ぎが多くて家庭に人が居ないから、学校、子どもの行き帰りでも大人と接しないですよね、車乗っている大人とは会うかもしれないけど。昔は、商店街歩いていたら、どこの子どもがすぐにわかって悪い事したら怒ったりしたけど、今はそういうのは無くなった。構造的なものを変えていかなければならないから、凄く時間掛かりますよね。どれが正しいか正解も無いですよね。
荒井社会教育主幹	巡回の活動の参加者数も１０９ページの上の方に書かせて頂きましたが、そういう意味では学校のＰＴＡも含めて巡視には出て頂いていま

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 荒井社会教育主幹	す。入学、始業式、終業式の時も声掛けなども民生委員さんを含めてですけど親御さんなど大人達が関わってくれて、子ども達も一緒にやってくれるような巡視活動もしておりますので、そういう意味では長い道のりがあるのですが、少しずつやっています。
若林会長	成果は出ていますよね。例えば、お祭りなんかで暴追協で露天商が居なくなったというのもあるけど、悪ガキみたいなのが遅い時間までちょろちょろしたり固まったりしなくなった。花火大会も、子どもが隠れて煙草を吸ったりなども無くなったし、成果は上がったと思います。
早田委員	客観的に見て青年の層が少なかったのですが、積み木サークルが積み重なって、あと二十歳の集い実行委員会、やっとＢ－ＬＩＶＥが出来ました。Ｂ－ＬＩＶＥが出来て、子ども達を指導する様になりました。そういう循環、先程言っていたのですが生涯学習の一環として何でもいいんですよね、得た知恵を次の人に循環させていくというのは美幌町の社会教育では上手くいっている方かなと思います。
若林会長	ようやく芽生えてきたというところでないか。
早田委員	この時代にそういう形になっているっていう事は、役割として素晴らしいと思います。
若林会長	こちらは総合計画審議会ですけど、前段の若い人がたくさん入っていたまちづくり会議での若い人の意見を消さないで取り上げ審議会に上げてくれと話しをしていたのは、やっぱり私達の年代で考えるのでは１０年後、２０年後なんて生きているかわからないのに、その時にこの町に対して責任を取れないような年代が、あんまり偉そうな事を提言しても駄目ですよね。若い人達の意見を大事にしてあげないと。彼らが住んでいるのですから。 ５－３の青少年の健全育成については大方良い所いっているんじゃないかとの声が多いですけど、よろしいですか。 では、次の５－４芸術、文化の振興です。これは皆さんにとって非常に身近な問題ですね。５－５スポーツの振興も文化的な意味合いが強いので両方の項目を合わせて皆さんからご意見を頂きたいと思います。
観野委員	芸術、文化という事で先程、博物館で２，０００点の絵画を収蔵しているという事でしたが、その中で目玉になるような物は何点かあるのですか。
小林博物館館長	何を目玉というかわからないですが、目玉はいっぱいあります。ジャコメッティという有名な彫刻家が居るんですけど、その彫刻がありますし、蠣崎波響の蝦夷鶯を書いた日本画がありますし、先日「びほーる」で柳瀬さんが展示したんですけども、柳瀬さんが東京で展示会をした時に中村研一さんっていう人の作品を貸して下さいという事で依頼があり、うちから２点東京へ送り貸しています。柳瀬さんのお父さんと同じ

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 小林博物館長	位の年代の著名な作家の中村研一さんの油絵の作品もありますし、関西の油絵の明治時代の鹿子木孟郎さんの作品もあります。こういう場で値段を言うのはおかしいですが、美術年鑑によりますと、号１００万の方達が居ます。文化勲章を貰っている林武さんという方が号５００万と言われています。そちらの作品があります。
若林会長	何号あるの。
小林博物館館長	４号です。
若林会長	２千万円かい。
小林博物館長	ただ、それは言い値と買値が別です。
若林会長	そんな良い作品があるなら名前的には、日本でも超有名な誰が聞いてもわかるようなレベルではないですよね。それを町民にわかるように表示したらいい、金額は書くわけにはいかないが。
小林博物館館長	ホームページにも出しているのですけど、前は、神奈川県からジャコメッティを見たいとわざわざ訪ねてきた人がいます。その時には美術室が出来ていなくて収蔵庫から出して見せてあげたら凄く喜んでいました。あと、マイヨールという人の彫刻もあります。
若林会長	防犯上はきちんと出来ているのですか。そんなに持っていたら総額が結構な金額になりますよね。
小林博物館館長	はい、札幌からも少しずつ口コミで休日に来てくれる方が増えています。美術は何年も掛けて広まるんだなぁということだと思います。インターネットでも、美幌で凄い良い絵があったと出ていたり、そういうので少しずつ出てきているのでもう少し人が来ればなと思います。
若林会長	必ずしもみどりの村まで行かなくたって、例えば図書館のスペースを使うとか、もし図書館を新築するとしたら絵画の展示スペースを付けるなどいくらでも人を呼べる方法がありますよね。
小林博物館長	今は、図書館でふらっとギャラリーという形で、作品の一部を展示して出来るだけ町民の目に触れる場所に出そうという努力はしています。
若林会長	ちなみに、貸して下さいと他所の展示会に貸した時にお金は取っているんですか。
小林博物館長	取りません。うちも他の博物館から資料を借りる時はタダで借ります。
若林会長	博物館同士ならわかるが、他所の人が個展を開いている場合は。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
小林博物館館長	それは寄贈者の柳瀬さんです。
若林会長	せっかくそれだけ良い作品を持っているなら活用方法も、もっと考えるべきだと思います。
森委員	１１３ページの（２）文化財や郷土資料等の保全、継承の①文化財の保全保護の町指定文化財は何カ所くらいあって、その文化財のマップというのはあるのですか。それとも、学校教育にも関係してくるのですけど、小学生達がこの文化財がある場所のツアーとかそういう教育はなさっているのでしょうか。
小林博物館長	そういう教育はしていません。博物館のホームページには出しているだけで、各学校に情報を出しているわけではないです。
森委員	何カ所位あるのですか。
小林博物館長	場所では２ヵ所。ベニバナヤマシャクヤクの群生地が一つ、美幌小学校の柏の木、美幌博物館を建設する時に調査で出た絵模様付きのれき、それと足柄奴です。
森委員	そういうのは学校教育の中で私達の町の文化財にはこういうものがあるのだよという事を取り入れて教育された方がいいのではないかと私は思います。
高木教育部長	博物館が学校側に提供出来るのは１５、６くらいの体験を含めて出来るのですが、そういう中に例えば、文化財は４つあるのですが、これについて触れるとか少し考えてみたいなと思います。
若林会長	意外と分からないですね。町の指定文化財の話しは初めて聞きました。足柄奴なんて瑞治のやつも指定文化財になっているのですか。
小林博物館館長	はい、町の指定文化財です。ただ今、止まっているので困っています。瑞治の方は瑞治地区意外には出したくないと言っているのですがＢ－ＬＩＶＥの青年達が自分達でそれをやらせてくれないかとの話しが出てきているので神社の方と打ち合わせをしながら社会教育的に引き継がれるのであれば引き継いで欲しいとの指導をしていかなくちゃいけないとは思っています。
若林会長	持ち物はもう瑞治のものなのでしょう。
小林博物館長	それがはっきりしないです。
若林会長	瑞治の人達は自分の所を使っていないにも関わらず、他所の団体には貸しませんと言っている訳でしょう。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	元々は竹下登の時代のふるさと創生基金の１億円を貰った時に、その予算の一部を使っているんですよ。
小林博物館長	いえ、それは交流で使ったみたいです。
若林会長	町で行ったんでしょ。あの時の旅費に充てて、あの一部を揃えた時にもお金が入っていると聞きましたが。
小林博物館長	博物館の方で町指定文化財になるという事で３年間８万円ずつ出していますので、総額２４万円を機材を修復するのに出しています。それ以降、みんな体が大きくなったので脚絆が合わないという事で、博物館で全部作りました。
若林会長	それで部落以外に貸さないとはならないでしょう。
荒井社会教育主幹	今、Ｂ－ＬＩＶＥの名前が出ましたけれども、最近Ｂ－ＬＩＶＥの会長と話しをした時に、そういう考えが今まであったけれども、繋げていきたい、残していきたいという思いが地域の方達にあるので、自分達もそこに話しをしている所です、という事だったので少しずつ何かが変わって来ているのかなとは思います。
小林博物館長	瑞治の方達と話しをしてもＡさんは絶対に駄目だって言うしＢさんは残して欲しいんだって言うし、誰が代表なのかという事で変わってしまうのですけども、解散したと言いながら、声の大きい人が強いっていうのがどうしてもあります。
若林会長	そういうのは町で説得できないですか。町の文化財ですから。指定受けているのだから、瑞治だけでどうこうできるものではないですから。
小林博物館長	瑞治の人達がやった奴だから指定になったという言われ方をするんですよね。でも、そうではなくて長年続けてきたから指定になっているんですよと言っています。
若林会長	お祭りでも寂しいですよ、奴見ないと。御神輿と、神社ののぼりを４人位持って歩くのと、もう、お神楽も無いし、舞踊も無いし、非常に短いですよ、あの行列。歩く距離は長いけど。是非そういうのはやって欲しい。それと今、町の指定を受けている美小の柏の木は私達が小さい頃から見ている。都会の人に見させるのならあれは素晴らしい木です。観光の所で柏の木は上がって来ないでしょう。そこは連携して、新しい観光の組織を作ってやってますから、そこにも提案してはどうですか。せっかく指定を受けているのに勿体ない。お願いします。
森委員	観光マップの中に入れればいいんじゃないですか。
西島委員	柏の木は今、一番見頃でどんぐりもいっぱい付いて大変盛り上がって

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 西島委員	緑の濃い中で素晴らしいですよ。指定になっているなら、より一層強く打ち出したら良いと思います。都会の人にしたら本当に珍しいのですよね、すごいねって言いますよ。
若林会長	指定になっているなら幕付けて、子ども達がいたずらして傷付けないように、美幌町の指定文化財と表示したら良いんじゃないですか。そうしないと誰も分からないよ。
小林博物館長	表示してトラロープで囲ってあるんですが、冬期間で駄目になるので、もう一度、杭を打ち直して冬期間はロープを外そうとしています。そうするとロープの痛みは少なくなるのではという話しが、文化財審議会の中で出ていたので検討しようという事になっています。
若林会長	他にご意見ありませんか。 パークゴルフ場が今ちょっと水面下で色々話題になっていますけど、町長のマニフェストという事ですが３億６千万円。反対の署名運動という動きがあるのですけど、私も反対している人の意見を聞くと、パークゴルフ場を反対はしていないのですよね。航空公園の滑走路をはがして、そして３億６千万円を掛けてやるのだったら、先程、優先順位の話しも出ましたけど、トレーニングセンターの改修に一部お金を回したり出来るのじゃないのという意見が出ているのですよね。私も反対の署名運動はやって欲しくないです。そういうのが表面的に出て来ると、やっぱり町が割れてしまいますから。なんとか、町民の多くの意見をもっと聞いて本当にそれだけのパークゴルフ場を作らないといけないのかをもう一度、町長には個人的に言っていますが、検討して頂きたいと思います。滑走路を壊すなんて勿体ないです。今、大きなラジコンカーやラジコン飛行機が結構ブームになっていますよ。だけど走らせる所が無いです。今、問題になっているドローンの良い練習場所だと思います。 一回ああいうふうに出てしまったら、議会は通って無いけど絶対にやらなきゃ駄目なのですか。やるのは私も反対はしていないけれども。
広島総務部長	パークゴルフですか。 色々な形で検討をするという事なので、決定ではなく、町民の声を聞きながら検討をしたいという所です。
高木教育部長	色んなご意見を基本計画を立ててパブリックコメントをやった結果色々なご意見がありました。それに対して時間は掛かったんですけど一件一件出来るだけ丁寧にお答えしようという事で８月２１日の日付の中で議会の全員協議会にも説明しながらその日に１ヶ月間ですが結果を報告させて頂いています。９月の２４日までですけれどもこの期間は十分検討するという事かなという事で最終的にどういう結論になるかは別として検討しましょうと内部的にそういう段階です。
若林会長	署名運動で反対などの事態になると、町民が割れていくので、十分検討して頂きたい。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	他に意見はありませんか。 以上で、本日予定されている会議の内容について全て終了しました。全体を通じて何か質問などありますでしょうか。 次回会議は、９月１８日（金）。時間は６時半から、場所は今日と同じくここ、集団健診ホール。内容は基本目標３、民生部の業務に係る内容です。基本計画の３０ページから５４ページまでを予めご覧頂いて、会議に臨んでいただきたいと思います。 皆様、本日はお疲れ様でした。